

病院でよく出されるのは西洋の薬。これに対し、東洋の薬として長い歴史を持つのが漢方薬。これが今、静かなブームになりつつある。「漢方薬は西

インタビュー特集

この人

洋の薬に匹敵する素晴らしい薬。患者さんの健康のためにもっと普及させたい」と話すのは開業医の溝口医師。プライマリーケア医として地域の健康を支える同医師は漢方による治療を積極的に活用、多くの実績を挙げている。

(漆崎 真人)

みぞぐちクリニック
院長 溝口 伸 さん



昭和42年(みぞぐち・しん) 鳥取県出身。近畿大学医学部卒業後、近畿大学医学部附属病院で勤務。25年(みぞぐち)にみぞぐちクリニックを開院。日本内科学会認定専門医。日本循環器学会所属。ほか多数の学会に所属。

プロフィール

「効果が実感できない、苦い。漢方にはこうした負のイメージを持つ人もいらっしゃると思いますが、その人に合う漢方薬を処方すれば、驚くほどの効果を発揮します」

みぞぐちクリニック(大阪府八尾市)の溝口伸医師は、「全身を診られる医師」を目標に、数々の病院で外来を経験。さまざまな症状の患者と向き合ってきた。

「漢方治療と出会ったのはちょうど医師になって10年目。それまでどんな治療を施しても治らなかった症状が漢方治療で治ったケースを多く目の当たりにしてきました。衝撃を受けましたね」

自身の医療に漢方を取り入れようと、漢方薬の研究に没頭し、知識を詰め込んだ。漢方をはじめ、自身の理想とする医療を実現しようと独立開業を決意。みぞぐちクリニックを開院した。

同院では総合内科、循環器内科、漢方内科、小児科を標榜。老若男女、幅広い患者に対応している。

「患者さんの事情や症状を考慮して、治療方針を決定してい

負担少なく身体に優しい漢方治療

くのが私のやり方です。その中で、ベストな方法と判断した患者さんに漢方を処方します。漢方が特に効果を発揮するのは、風邪や冷え症、便秘・下痢、精神不安や女性の更年期障害などです。過去には10年来胃痛に悩まされていた患者を漢方で救ったこともあります。そのときは、漢方の力を改めて思い知らされました。しかし、処方するタイミングや薬の種類を間違えると満足に効果を「得ることができません」と、効果の出る漢方薬選びに慎重を期す。

同時に「そのためには患者さんに時間をかけて診察を行うことがとても重要。細かい生活習慣や症状などを把握しないとその人に合った漢方薬を処方することができませんから」と語る。

さらに、溝口医師は漢方薬の大きなメリットとして「副作用がほとんどない点です。漢方は負担が少なく、体に優しい治療なので、ぜひ多くの方々に受けてもらいたいですね」と締めくくった。

☎072・999・0808 URL <http://mizoguchi-clinic-mega.jp/>
大阪府八尾市龍華町1-4-2 メガシティタワーズ ジ・イースト2階